

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2025年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。
2. 招集について、トラック競技は各競技開始時刻の15分前、フィールド競技は30～60分前に完了し、同時にアスリートビブス（ナンバーカード）の確認を行う（棒高跳は現地で行う）。また、招集時刻が他の競技時刻と重なっている場合は**同時出場届**を、棄権する場合は、**欠場届**（用紙は招集所に準備）を招集開始時刻までに競技者係に提出する。
3. アスリートビブス（ナンバーカード）は、胸、背部に確実につけること。ただし、跳躍種目については片方だけでもよい。トラック競技は本部で用意した腰ナンバーカードを指定された位置につけること。腰ナンバーカードは競技開始直前に付け、終了直後に必ず返却する。
4. 競技用具は、会場備え付けの物を使用する。ただし、棒高跳のポールについては各自のものを使用してもよい。また投てきの用具は、高校・中学用のものを使用する。その他の物は、検定を行う場合があるが、許可なく競技場内に持ち込んではいない。
5. 投てき練習は危険防止のため競技開始前、審判の指示によって行う。なお、練習会場（補助競技場等）での投てき練習は禁止する。メディシンボールについては指定された区域で使用する。
6. 男女とも100mのみ、記録上位18名（希望しない者がいる場合は繰り上げ）による二次レースを実施する。二次レースを希望する選手は、女子10：30・男子11：30までに本部の指示に従って参加意思表示をおこなう。
7. フィールド種目（高さの種目を除く）の試技数は3回とする。
8. 記録証を必要とする者は表彰係へ申し出ること。（記録証代100円）
9. メインスタンドでの集団応援は禁止する。また、横断幕や幟の設置は本部の指示に従って設置すること。
10. 助力について、競技規則 TR6に従う。なお、スタンドから映像を見せる事は認めるが、映像機器等をスタンドから吊り降ろしたり、競技者に手渡したりしての映像確認は認めない。TR6. 4. 5はサイドスタンドのみ適応する。
11. メイン競技場バックストレート、3～9レーン（8. 9レーンは300mH 練習）については、10：20までW-UPでの使用を可とする。ただし、スパイク着用練習のみとする。（Jog、動き作り等は不可）
12. 環境美化について、各大会で清掃分担が割り当てられているが、グラウンド・スタンド・選手控え所・トイレ・更衣室など、使用した周囲も含めて美化に努めること。また、ゴミは必ず各自で持ち帰ること。補助競技場の清掃分担にあたっている学校は、使用された用器具をすべて片付けること。